



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation  
公益財団法人鳥取県国際交流財団

# とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鳥取国際通讯

No. 110  
June, 2014



写真 米国バーモント州と鳥取県の高校生が鳥取大学乾燥地研究センターを視察  
Vermont/Tottori High School Students Visit Tottori University's Arid Land Research Center  
美国巴蒙特州与鸟取县的高中生至鸟取大学干燥地研究中心视察

## 目次 Contents 目录

TPIEFだより ・平成26年度 財団の主な事業紹介	02	山陰・夢みなと博覧会記念 基金助成金のご案内	05	英語版・中国語版ダイジェスト Information in English and Chinese 英文版・中文版文摘	08-09
財団コーディネーターの紹介	03	海外レポート ・江原道自転車ツーリングの旅(その2)	06	・TPIEF Projects in 2014 ・財団コーディネーター ・TPIEF Gains New Managing Director ・Living in Tottori "trash disposal"	・平成26年度財団の主要事業紹介 ・財団協調員の紹介 ・新的常务理事任职鸟取国际交流財団 ・生活在鸟取之「垃圾处理的方法」
新常務理事紹介	03	鳥取県に暮らす ・ゴミ処理の方法	07	図書情報等	10
特集 「韓国・江原道及び中国・吉林省 との友好交流20周年を迎えて」	04-05	JICAデスクよりお知らせ	07		

## 鳥取県・バーモント州青少年交流事業

当財団では、アメリカ・バーモント州の団体と高校生の相互派遣プログラムを実施しています。

4月にバーモント州から高校生11名が来県し、県内の高校訪問や、日本の高校生と一緒に環境をテーマに視察を行いました。また地元の家庭でホームステイも経験しながら、日本での滞在を楽しみました。10月には、鳥取県からバーモント州へ高校生を派遣し、今回バーモントの高校生が行った同様のプログラムをアメリカで体験する予定です。



開催しました!!



**開催予定** 今年も様々な事業が実施されます!お気軽にご参加ください。



## 子どものための 異文化理解体験講座

募集が始まりました!!

小学校対象

県内の小学校に外国出身講師を派遣し、外国の文化に触れる機会を提供する事業です。講師は、財団に勤務する中国、台湾、モンゴル、アメリカ出身の職員のほか、県内の大学で勉強する留学生や地域に居住する様々な国の出身者が務めます。県内小学校からのたくさんのご応募、お待ちしております!

■応募締切/6月30日(月)

■講師の派遣時期/9月~12月(平日の授業時間内)



## 外国人のための 防災ステップアップセミナー

外国出身者対象

外国出身者が大規模災害時に抱える不安を取り除くため、防災についての基礎知識や体験をとおしていざというときの心がまえを学ぶセミナーを県内の各地域で開催します。



## 専門通訳ボランティアの派遣

「医療通訳ボランティア」「コミュニティ通訳ボランティア」を派遣しています。

県内在住の外国出身者の皆様、医療・保健機関、学校や行政機関の皆様、意思疎通でお困りの際は、最寄りの財団事務所へご相談ください。

制度をご活用ください



## 国際交流の集い

県民参加型

気軽に国際交流できる機会として、世界の国々の文化を紹介する集いや、外国出身者とともに日本の伝統文化や行事を楽しむ集いを、県内の各地域(東部、中部、西部)で開催します。どんなイベントになるかは楽しみ!

## 多文化共生出前講座

皆さんの地域で開催される多文化共生や外国人の人権をテーマとした研修会やセミナーに講師を派遣します。講師謝金と交通費は財団が負担します。



## 国際交流フェスティバル

県民参加型

県内の各地域(東部、中部、西部)で、国際交流の民間団体や外国出身者の方々と協働で開催します。

## 話してみよう韓国語 鳥取大会

県民参加型

※出場者は韓国語学習者の方です。

今年で10回目となる鳥取大会。本大会をとおして“演じながら表現を楽しむ”だいご味を味わってみませんか。

■開催日時/12月13日(土)13:00~

■会場/米子市文化ホール イベントホール

# 財団コーディネーターを紹介します!


## Q 質問

- 1 勤務事務所
- 2 出身国(地域)
- 3 担当言語
- 4 来日年数
- 5 好きな食べもの

鳥取県国際交流財団には、4名の国際交流コーディネーターが各事務所に在席しています。勤務日はそれぞれ異なりますが、気軽に会いに来てくださいね。それぞれ日本語も、もちろんOKです!



チョウ ウ ビ  
**張 雨薇**


- 1 本所
- 2 中国(内蒙古自治区)
- 3 中国語
- 4 3年
- 5 たこ焼き 

一言メッセージ

初心忘るべからず




トレメイン セノス   
**Tremain Xenos**


- 1 本所
- 2 アメリカ合衆国
- 3 英語
- 4 10年以上 
- 5 野菜・魚

一言メッセージ

世の中には色々な人がいるから、たまに既成概念を無視した方がいいです。




リョウ ギョクラン   
**梁 玉蘭**


- 1 本所
- 2 中国(甘粛省)
- 3 中国語
- 4 19年
- 5 ラーメン 

一言メッセージ

来日が長すぎて中国に帰るたびに外国へ行ったように感じてしまいます。第2の故郷、鳥取で頑張ってまいりますのでよろしくお願いたします。



ラホウ チェミ   
**羅房 捷美**

- 1 米子事務所
- 2 台湾(台中市)
- 3 中国語、台湾語
- 4 13年
- 5 辛いもの 

一言メッセージ

おしゃべり大好き! 皆さん、お話しに来てくださいね~

## ● 新任のご挨拶



新コーディネーター

ジャラントンの  
**扎蘭屯市**

内蒙古自治区

中華人民共和国

中国語担当  
チョウ ウ ビ  
**張 雨薇**

你好、張雨薇、と申します。中国の内蒙古自治区出身で、日本に来て3年目になります。初めまして、よろしくお願いたします。

私の故郷は内蒙古自治区の東北部にある扎蘭屯(ジャラントン)市という小さな町です。町の西北部は大興安嶺(だいこうあんれい)山脈の原生林で、森林、草原、溪流、山谷の自然風景は著名で「塞外蘇杭(さいがいそこう)」と称されます。大興安嶺山脈の向こうに、中国の一番きれいな草原である呼倫貝爾(フルンポイル)大草原があります。ぜひ、遊びに来てくださいね。私の故郷は内蒙古と黒竜江省の境界に位置するので、モンゴル文化と中国東北文化が混ざっている地域です。中国の東北弁を使いながら、羊肉しゃぶしゃぶ、干し牛肉、モンゴル風のミルクティなどのようなモンゴル料理は日常生活に欠かせないものとなっています。まるで異文化が混ざっている環境で育てられたような感じですね。

異文化を好む私は鳥取に来て、すぐに鳥取の生活に慣れました。学校の勉強以外にちゃんちゃん祭り、国際交流イベントの実行委員会、ホームステイ、日本語スピーチ大会などに参加したりしました。様々な活動を通して、自分も成長でき、人生も豊かになったので、これこそが留学のやりがいなのではないかと感じました。

これから、日本での留学や生活経験を生かして、中国語コーディネーターとして頑張ります。中国・中国語のこと・日本での生活で困ったことなどがあれば、お気軽に声をかけてください。



新常務理事

**内田 克彦**

こんにちは。この4月から山下常務理事の後任として常務理事に就任しました、内田です。

近年、経済のグローバル化の進展等により、私たちを取り巻く環境は大きく変わっています。多くの人が海外に行ったり、勤務したりした経験を持ち、また、在住・滞在する外国籍の方も増加しています。海外からの日本への観光客も1千万人を超えました。

こういった中で、人種、国籍、文化の違いを認め、尊重し、かつ互いに支え合う多文化共生の社会が求められています。

その実現に向けて、現在、県内においても、県民の皆さん、民間団体、行政等においていろいろな取り組みが進められていますが、当財団の果たすべき役割も大きいと考えており、これらと連携・協力しながら、今後とも職員一体となって各種事業を実施していく所存であります。どうぞよろしくお願いたします。

鳥取空港国際会館の中にある財団本所にいます。どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。

# 韓国・江原道及び中国・吉林省との 友好交流20周年を迎えて



鳥取県と韓国・江原道及び中国・吉林省は、それぞれ交流が開始されてから今年で20周年を迎えます。今回の特集では、これまでの交流の様子をご紹介しますとともに、交流をされてきた方々からメッセージをいただきましたので併せてご紹介します。

鳥取県  
と

## 韓国 江原道 との交流

1994年に友好提携を締結。双方の地域の活性化に繋がるよう、文化、経済、福祉、環境、青少年、教育など多岐にわたる分野で交流を進めています。2001年には米子空港からソウル定期便、2009年には境港市から韓国・東海市、ロシア・ウラジオストク市へと続く定期貨客船が就航し、交通のアクセス幅も広がり、民間団体同士での国際交流も盛んに行われています。

鳥取県  
と

## 中国 吉林省 との交流

1994年に友好交流覚書を締結。鳥取県は毎年9月に吉林省長春市で開催される「北東アジア博覧会」に第1回から参加するなど、経済分野を中心に交流をすすめてきました。また、「まなびピア2005」や「日本のまつり2009・鳥取」へは吉林省芸能団が参加、鳥取県からも2009年以降、青少年芸能団を毎年吉林省へ派遣し、文化・青少年交流が盛んに行われています。

TOPIC  
01

## 11年目を迎える 原州IML国際ウォーキング大会への参加



NPO法人未来 韓国交流部会長 水野 聖子さん

2004年10月 第10回原州IML国際ウォーキング大会が開催されました。

NPO法人未来ではこの大会に11名の参加者を派遣しました。大会前日には韓国国際ウォーキング大会組織委員会とNPO法人未来(未来ウォーク実行委員会)がウォーキングを通じ、お互いの共同発展のため信頼を持って協約しました。



以後10年間、6月にはSUN-IN未来ウォークに韓国から倉吉市へ、10月には原州IML国際ウォーキング大会へと出かけ交流を深めてきました。また、2010年には第1回日韓ピースウォーキング大会で原州市～東海一境港～倉吉・SUN-IN未来ウォークの会場へ盛大な行進をしました。

2012年11月からはSUN-IN未来100kmウォークもスタートし、今年は3回目になります。これにも韓国から毎回参加者がいます。

今年は、鳥取県と江原道の交流が20年目を迎えます。各団体それぞれがいろいろな交流を実施されることでしょうか。私たちは、第2回日韓ピースウォーキング大会を9月からスタートさせます。9月6日には鳥取県庁をスタートし、境港までを5区間に分けて歩き、10月には江原道庁(春川市)から原州市までを歩いて第20回原州IML国際ウォーキング大会にゴールする計画を立てています。

このピースウォーキングを盛り上げると共に、10月末の原州IML国際ウォーキング大会に多数の鳥取県民が参加し交流を深めていけたらと思います。ウォーキングは体力に応じてどなたでも気軽に参加していただけます。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

NPO法人未来ホームページ <http://npo-mirai.net/public/>



フットボールクラブアミーゴを創設して25年が経ちました。創設当初より、チームで子どもたちに海外遠征をさせようと思っていました。一度海外遠征を体験すれば、子どもたちは、サッカーの技術・戦術ばかりでなく、生活態度・仲間の大切さ・保護者への感謝等多くのことを一回の体験から学ぶことができると考えていたからです。その思いが叶ったのが23年目でした。

2011年、境港市と交流のある、江原道の東海(トンへ)市およびウラジオストク市への海外交流がはじまり、3年間続いています。

韓国では、サッカーの交流ばかりでなく、「韓国相撲」の中学生全国大会を観戦させていただきました。中学生の迫力ある取組に圧倒されました。また、観戦していると場内で私たち境港市からの訪問を紹介して下さったことに驚き、とても感激しました。

ウラジオストクでの交流は、Pavino<sup>パヴィノ</sup>チームとの交流でした。ウラジオストクは、20時を過ぎても明るく、到着してから21時近くまで小グループに分かれてゲームを楽しみ、子ども同士すぐに仲良くなりました。

次の日は、午前パヴィノとの試合を行い、午後ロシアリーグのFC LUCH<sup>ルチ</sup>のU15チームと試合をしました。ランチタイムでは、Pavinoのチームとゲームや歌を行い、大いに盛り上がりました。最後には、ユニフォームの交換ではなく、自分の着てい

るTシャツの交換をする子どもも多くいました。

この海外での1週間の間に、サッカーをすることができるのは、家の方をはじめ、周りの方々のおかげであると実感し、より深い感謝が生まれてきました。

この貴重な体験から、感謝を持って生活できる選手・チームとして成長し、今まで、勝つことができなかった高円宮杯U15サッカー鳥取県大会において2011年より3年連続優勝することができたと思います。

今後も、クラブで育った子どもたちが、海外遠征を通し、グローバルな視野を持った社会人に成長し、いつか、地元のために貢献してくれるクラブをめざしていきたいと思ひます。



【公益財団法人鳥取県国際交流財団】助成金を活用して交流の輪を広げましょう!

## 山陰・夢みなと博覧会記念基金助成制度

平成26年度、鳥取県と韓国江原道及び中国吉林省との交流が20周年を迎える記念すべき年に、両地域との交流はもちろん他の地域との民間交流の活性化を期待し、助成要件を一部緩和します。積極的に助成制度をご活用ください。

26  
年度  
限定


□一事業に対する助成額

すべての事業 **上限額 500万円**  
同一年度内1団体への助成限度も同様です。

□連続して助成を受けようとする事業

**新規参加者が全体の半数以上**であること等を要件としません。  
この機会に旧交を温めていただくなど、より多くの県民の皆さんが参加できるよう配慮します。

継  
続

□米子ソウル便又は環日本海定期貨客船(DBSフェリー)利用の場合、補助率を優遇 \ 鳥取県内発着の国際航路の利用にご協力をお願いします。/  
**米子ソウル便**または**環日本海定期貨客船**(境港を発着)どちらかを利用する場合 **補助率 2/3に優遇** 

□パスポート取得費用を支援

**申請事業への参加のために新たにパスポートを取得**する場合 **1人あたり 5,000円支援**(パスポート取得費用の半額程度)

□海外教育旅行に対する助成制度を創設

**県内の幼稚園・保育所、小・中・高等学校**(準ずる課程のものを含む)が実施する**海外への教育旅行** **児童・生徒 1人あたり 5,500円助成**  
本県の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成を図るため、平成23年度から開始しています。

さらに **米子ソウル便** または **環日本海定期貨客船**を利用した場合 1人につき **10,000円上乗せして助成**

□民間交流団体等が実施する事業では、国、県、市町村からの助成金や国際定期航路利用促進委員会の支援制度と併用できます

まずは、ご計画の内容等について早めにご相談ください。申請の仕方だけでなく他団体との連携や事業実施のノウハウ、広報など、事業を実施するうえで効果的な方法等について情報提供するなどサポートします。初めてで自信のない団体には書類作成についてもお手伝いします。

\*助成の対象となるのは、県内に居住されている方、県内の事業所・学校等に在籍されている方です。\*食糧費は対象外です。

助成金に係る要綱のほか、申請書類の様式は財団のホームページで閲覧、ダウンロード <http://www.torisakyu.or.jp/?id=99>